



古町のダイチョウ

この大いちょうは、建久年間会津四家の一人、初代河原田盛光が東館、西館を築いてここに重臣を住ませ、その時に植えた庭樹と言ひ伝えられる。十一代盛次の時馬場安房が居住したので後人、馬場屋敷と呼ばれている。(現在は伊南小学校々地となっている)

昔は乳の神として村人の信仰厚く、また遠く上州や越後からの参詣者も多かった。

この木は、樹令八百年余と推定され、樹高三十五メートル、根廻り十六メートル、目通り十一メートルあって県下随一の老樹で、郷土の至宝である。

県指 定 天然記念物

所在地 伊南村大字古町字居平十一

番地一六

管理者 伊南村教育委員会

指定年月日 昭和28年10月1日

県緑の文化財登録 昭和57年9月13日

県緑の百景に入選 昭和60年6月17日